

総合部門①（北海道開発局長賞）

「苫前地域マリンビジョン協議会」 ～くるるん & ふらっと とままえ～

【概要】

「苫前地域マリンビジョン」は、苫前町の街づくり推進計画の核である「シーフロントパークとままえ整備構想」を踏まえて臨海部に都市との交流拠点を創出し、地域産業が相互に協働・連携した地域振興を図り、水産物を核とした恵まれた活力と賑わいのある環境の形成を目指しています。

好評の地域イベント等と連携させたエビオーナー制度への取り組みや、企業と連携した給食事業やカタログ販売等による地場水産物の普及活動、水産物の衛生管理における雪氷熱エネルギーを活用した先導的な取り組み等、様々な取り組みが進められています。

【選定理由】

地域マリンビジョンに位置づけられている既存の地域イベント等と連携した地産地消の推進、地場水産物の販路拡大への取り組み、水産物の衛生管理等が着実に行われた結果、地域振興に繋がる効果が現れ始めており、漁港を核とした街づくりを進めていく上でのモデルとなるケースということが評価されました。



雪氷熱エネルギーの活用した荷捌所内の状況と
エビオーナー制度の取り組み状況

個別取組部門①（北海道マリンビジョン21促進期成会会長賞）

『教育分野との連携や地域資源を活用した 福島の水産振興の取り組み』 （福島地域マリンビジョン推進協議会）

【概要】

当地域では、水産業を中心とした街づくりの推進のため各種大学と連携協定等を選び、学生と町民による懇談会や研究発表会の場の提供、マグロ延縄漁体験など、地域住民参加・協力型の取り組みを進めています。また、海浜ビーチや横綱記念館等の地域資源と漁業体験を組み合わせた観光振興を図ることで、観光客の増加につなげ地域の活性化を目指しています。更には、低未利用のコンブの根部（通称：ガニ足）を利用した製品化への協力にも積極的に取り組んでいます。

【選定理由】

地域住民が主体的に参加・協力しながら地域資源を活用した観光振興や大学との協定に基づく取り組み等を行うことで、都市との積極的な交流の仕組みづくりが確立され、交流人口の増加及び地域の活性化に繋がる点が評価されました。

加えて、これまで低未利用であったガニ足を加工して育毛剤製品の原料を作り出すなど、資源の有効活用への取り組みを通して雇用の創出が生み出され、更なる地域産業の活性化に発展することが期待されています。



マグロ延縄漁体験とガニ足の加工

個別取組部門②（北海道マリンビジョン21促進期成会会長賞）

『地域資源を活用した都市漁村交流促進事業』 （根室地域歯舞地区マリンビジョン協議会）

【概要】

当地域では、将来にわたり存続し豊かで活気のある漁村を構築するために、地域資源を活用した取り組みや、定住人口の増加が見込めない現状下において交流人口の増加を目的とした様々な取り組みが進められており、その具現化に向けて歯舞ブランドの確立や低利用資源の高付加価値化を図る取り組みが進められています。販路が確定するなど事業が軌道に乗れば、漁業者の所得向上や雇用拡大して地域の活性化に大いに寄与するものと地元では期待しています。

【選定理由】

地域資源である歯舞産水産物のブランド化の確立のために、低価値・低価格の殻長3cm程度のアサリをボイル後に真空パック詰めした商品開発に取り組んだり、天然あさりを活用した地元小中学生への水産教室の開催や観光客に対する潮干狩りの一般開放など、資源の有効活用への取り組みが評価されました。

加えて、修学旅行生に対するホームステイと漁業体験などを通して、当地域のPR及び基幹産業である漁業への理解促進に寄与され、更なる活力ある漁村づくりに発展することが期待されています。



潮干狩りの一般開放と
商品開発された真空パック詰めのアサリ

個別取組部門③（北海道マリンビジョン21促進期成会会長賞）

『海・山・人「雄武の宝」を全国へ ～産地・消費地交流による消費拡大～』 （雄武地域マリンビジョン協議会）

【概要】

当地域では、基幹産業である水産業及び農業分野において生活クラブ事業連合生活協同組合連合会（以下、生協）と地元農水産物の販売提携を行うことで雄武産品のPRを図り、当地域マリンビジョンのコンセプトでもある『海（水産物）・山（農産物）・人（産地、消費地交流）が育んだ「雄武の宝」づくり』につながる取り組みが進められています。

近年では、東京において漁協女性部による生協会員を対象とした料理教室や産地での交流会・見学会など取り組みが規模を拡大しながら実施されており、雄武産水産物のブランド化の確立に向けて取り組んでいます。

【選定理由】

平成14年度から生協と連携を図り雄武産水産物の普及に努めており、料理教室や交流会・見学会の実施、水産加工体験等の交流拡大により「雄武産」の知名度アップと生協での消費拡大の効果が出てきており、継続的な地域ぐるみの取り組みとして浸透している点が評価されました。

加えて、鮮度や品質にこだわる生協会員との交流を深めることで、安全・安心な水産物を提供する漁業者の衛生管理に対する意識が向上してきており、雄武産ブランドの確立・強化が期待されています。



漁協女性部による東京方面での料理教室と札幌生協での直売会

北海道開発局長特別賞

「根室地域落石地区マリンビジョン協議会」 ～独自の自然環境・景観と共生した漁業と暮らしの再構築～

【概要】

「根室地域落石地区マリンビジョン」は、独自の自然環境・景観を活用したエコツーリズム等による都市との交流を契機とした落石の「顔」が見える形での販売等を通じて、流通の活性化やウニ・ホッキ貝等の増養殖による地域振興を目指しています。

加えて、非常に地震の多い地域であることから「震災・津波」の脅威から漁村を守るための対策として、地域独自の防災対策に関する協議会を設立し、漁船の津波時沖出し避難のルール作りや漁業者を含む地域住民の避難ルール等、地域に見合った津波防災対策を進めています。

【選定理由】

根室地域落石地区マリンビジョン協議会からは、今回、個別取り組み部門に「津波防災対策」の取り組みに関する応募が行われました。

平成19年から地域住民も含めた津波防災に関する講演会や勉強会等を実施しており、漁船を沖合に避難させる際のルール等を独自の調査結果を踏まえて取り決められております。このような防災に対する実践活動により地域全体の防災意識の向上が図られてきている点など、モデルとなる取り組みが評価され、防災というキーワードから北海道開発局長特別賞が与えられることとなりました。



津波予報発表時の漁船避難ルール作成状況